

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

<b>募集分野</b>		登録番号	
■募集分野	鉱物資源開発・管理	■募集人数（人）	1
■学位	修士／博士		
■担当部署名	社会基盤部 資源・エネルギーグループ		
<b>■募集の背景</b>			
<p>鉱物資源分野人材育成クラスターを推進するに当たり、資源産出国における先端技術のみならず開発途上国の実情にも精通した、資源の絆プログラムを将来的に牽引しうる人材を育成する必要がある。しかしながら、ポスドク雇用問題等を背景として、日本の大学の資源学科において博士号を取得する日本人学生が激減しており、このままでは本邦大学における長期留学生（資源の絆）や資源分野の人材育成事業の担い手不足に陥る可能性がある。このため、鉱物資源分野を専門とする若手人材で、今後、最先端の資源開発関連技術について知見を深めるとともに、開発途上国における持続可能な開発・人材育成のためのその知見を活用したいと考える大学教員・専門員・専門家志望者等を対象として、海外で最先端の資源学を学び修士号あるいは博士号を取得するとともに、留学後にJICA専門家などの経験も積んでもらえる機会を提供する。</p>			
<b>■本事業を通じて育成が期待される人材像</b>			
<p>鉱物資源開発・管理分野において、最先端の学術的な知見のみならず開発に関する実務経験を有する人材。JICA事業において実務経験を積んだのち、大学において教員として資源分野の長期研修プログラム受け入れを担う。</p>			
<b>■想定される大学院の研究コース（及び研修内容）</b>			
<p>米国、カナダ、豪州などにおける資源工学分野専攻課程を有する大学院</p>			
<b>■参考情報</b>			
<p>関連する分野課題：資源・エネルギー  <a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/energy_minig/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/energy_minig/index.html</a>            関連事業：資源の絆プログラム  <a href="https://www.jica.go.jp/publication/pamph/issues/ku57pq00002izsm8-att/japanbrand_09.pdf">https://www.jica.go.jp/publication/pamph/issues/ku57pq00002izsm8-att/japanbrand_09.pdf</a></p>			
<b>■研修終了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間</b>			
<p>学位取得後に1～2年程度JICA本部に勤務した後、専門家等として1年以上派遣されることを想定。</p>			
<b>■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件（「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）</b>			
必須	Aクラス（JICA専門家ガイドライン） ※TOEIC730点以上、TOEIC S&W 290点以上、TOEFL550点（CBT213点、iBT79点）以上、英検準1級以上、国連英検B級以上、IELTS6.0以上		
必須	鉱物資源開発に関する専門性		
<b>■備考・留意点</b>			